

平成15年/2003

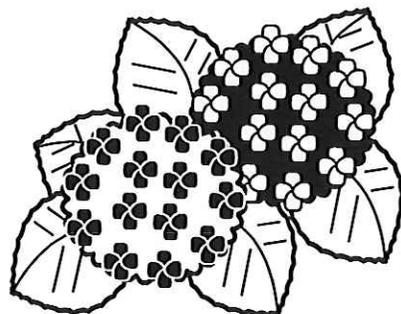
No. 2
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ



野口遵顕彰会

会長 清本英男

初夏の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当顕彰会に対しまして温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

お蔭様で各事業とも順調に進み、成果を上げることができました。各事業の実施状況について別紙の通りご報告いたします。

特に、歴史教材の作成事業は、関係の皆様のご尽力を得て、中学校副読本「のべおか新興の母 野口 遵」が立派にできあがり、各中学校へ贈呈いたしました。今後、歴史教材として大いに資することを期待しています。

当顕彰会も3年目を迎え、一層の充実に努めて参る所存です。厳しい経済環境が続く中、大変恐縮に存じますが、賛助会費のご支援を引き続き何とぞよろしくお願い申し上げます。

青少年科学技術派遣

— ジュニア科学者の翼 —

担当委員長
坂本純一



第2回「ジュニア科学者の翼」の研修事業を平成14年7月30日から8月2日までの4日間の日程で実施しました。

この派遣研修は、野口遵翁が晩年私財の全てを投じ、わが国の未来の化学産業の研究のために「野口研究所」を設立されたこと、同時に次代を担う人材育成をめざした「奨学制度」を創設されたこと、等々の遺徳を偲び「ジュニア科学者の翼」の愛称で実施する顕彰事業です。

今年度は、7月30日から4日間、学校の夏休み期間を利用し、延岡市および高千穂町、日之影町の中学校から選ばれた中学生11名、引率教諭1名、計12名で研修チームを編成し派遣しました。その研修派遣先は、①野口研究所（東京）②国立極地研究所（東京）③東芝科学館（川崎）④日本科学未来館（東京）⑤印刷博物館（東京）⑥東京ディズニーシー（東京）の6ヶ所です。

平成14年8月6日・旭化成向陽クラブにおいて、同上の研修生たちの研修報告会を開催しました。研修生たちは、目を輝かせながら科学技術の一端にふれた感動や学習体験を実に堂々と報告してくれました。

いつの日か、この「ジュニア科学者の翼」に参加した研修生の中から、世界の舞台ではばたく科学者が誕生してくれることを切望してやまないところです。

第2回「ジュニア科学者の翼」の派遣研修生は次の通りです。

地区	学校名	男	女	計
延岡	延岡中学校	0	1	1
	恒富中学校	0	1	1
	土々呂中学校	1	0	1
	岡富中学校	1	0	1
	旭中学校	0	1	1
	東海中学校	1	0	1
	尚学館中学校	1	0	1
	西階中学校	0	1	1
日之影	黒岩中学校	0	1	1
	高松中学校	1	0	1
高千穂	岩戸中学校	1	0	1

(引率) 延岡市教育委員会学校教育課 松田 聖 課長補佐

野口賞の授与

担当委員長 上田 伸



野口賞は、宮崎県内で工業化に繋がる技術開発に顕著な業績を挙げた企業や個人を選定して、賞状と副賞100万円を授与する制度であります。

今回は、応募者の拡大に努めた結果9件の応募があり、選考委員会（下表メンバー）の厳正な審査により、九州保健福祉大学保健科学部 池脇助教授の研究テーマが第2回野口賞に決定しました。

表彰式は、昨年11月15日ホテルメリージュに於いて県工業倶楽部と共催し、受賞者に依る授賞課題の講演会も行い、盛会裏に終了しました。

今後の表彰式は、カザレー式アンモニア合成法の工場が、世界で初めて延岡で始動した日を記念して10月5日頃を目標に準備をすすめたと思います。

委員長	甲賀國男氏	(宮崎県工業倶楽部会長)
委員	読谷山昭氏	(財野口研究所理事長)
"	中馬章一氏	(宮崎県商工労働観光部長)
"	黒沢宏氏	(宮崎大学地域共同研究センター長)
"	中島忠夫氏	(宮崎県工業技術センター長)
"	田畑晴郎氏	(元宮崎県工業倶楽部会長)
"	田原直廣氏	(九州保健福祉大学学長)

歴史教材の作成

担当委員長 大崎 清

1) 執筆・編集

野口遵翁のことを知る人も少なく、資料も乏しくなっております中で、牧野教育長、杉本教育部長、後藤学校課長の御熱心な取り組み、内野、猪野、山崎、三先生の綿密で広い視点からの御執筆により、このような見事な本が出来ました。関係の皆さん方の御苦勞に深く御礼を申し上げます。

野口翁の活躍された時代の文体や熟語などを現代の中学生に、どのようにすれば理解を得られるかということ、また、日本と北朝鮮とが微妙な関係にある中で、野口翁の高邁な世界観と人間愛が、どのように書けば日朝双方の人達に解って貰えるか、ということを特に配慮いたしました。野口翁が現代に甦えられることを祈ってやみません。

2) 発行・配本

平成15年4月に1,500冊を発行し、延岡市内の中学校13校に421冊、尚学館中等部に42冊、高千穂町（5校）と日之影町（4校）の中学校に計227冊を贈呈。また、延岡市立、高千穂町立、日之影町立の各小学校へ計141冊、それぞれ贈呈いたしました。

収支決算報告

収入の部		支出の部	
① 前年度繰越金	6,002,080円	① 事業費	3,947,578円
① 企業・法人による賛助会費 (44社)	3,361,000円	② 手数料	14,285円
② 個人による賛助会費 (123名)	434,000円	③ 次年度繰越金	5,835,323円
③ 利息	106円		
合計	9,797,186円	合計	9,797,186円

注) ①次年度繰越金には、歴史教材(副読本「のべおか新興の母 野口 遵」)の作成費約200万円の未払分を含みます。



1. 記念講演会

野口遵生誕130年を記念して、宮崎県工業倶楽部との共催により来る10月3日(金)、延岡総合文化センターにて開催します。

講師は、「不可能を可能にする男」「金型の魔術師」と称される、金型職人で東京墨田区の下町で岡野工業株式会社を営む岡野雅行氏。

刺しても痛くない注射針という全人類の偉業を成し遂げた人。同氏の開発哲学、経営哲学について貴重なお話が聞かれます。



おねがい



1. 賛助会費は同封の「振込用紙」でお願いいたします。
1口1,000円/年間、何口でも結構です。
2. 当顕彰会では、賛助会員を募集しております。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご紹介をよろしくお願いいたします。

なお、ご入会をご希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが延岡商工会議所事務局(TEL33-6666)までご連絡をお願いいたします。折り返し「趣意書」および「振込み用紙」を送付いたします。